



2014年夏季号(通巻98号)

発行:公益財団法人 豊川市国際交流協会

編集:ニュースレター部会

〒442-0878 豊川市新道町1丁目1-3 勤労福祉会館内

☎0533-83-1571 FAX0533-83-1581

(年4回 5・8・11・2月発行)

■ホームページアドレス <http://www.yui.or.jp/tia/>

■メールアドレス tia@yui.or.jp

1995年11月3~5日

「友好フェスタとよかわ」開催

協会設立5周年を記念して、11月3日から5日までの3日間、豊川市勤労福祉会館を全館使用して「友好フェスタとよかわ」を開催しました。大研修ホールは勿論、ロビーも駐車場も使いました。内容は多岐にわたりました。列挙してみましょう。○オスマン・サンコンさんの講演会「サンコンの国際交流」○日本語・英語スピーチコンテスト○5周年の歩みパネル展○海外コミュニケーションコーナー○輸入品バザール○外国語ワンポイントレッスン○海外アニメーション映画上映○海外旅行・留学相談コーナー○ホームステイ展示○外国料理教室○パプアニューギニア展○

外国人カラオケ大会○お茶席○プレイランド○表彰○フリーマーケット○輸入品バザール、など。

その中でも人気があったのは外国料理教室と外国語ワンポイントレッスンでした。外国料理は今でも協会の行事としては絶大な人気があります。外国語ワンポイントレッスンは「中国語」「イタリア語」「ハンガール」でした。人気で参加者がいっぱい教室もできました。珍しくて、評判だったものは海外コミュニケーションコ

ーナーでした。これはNTTさんの協力により、海外の電話回線を3回線用意して、外国の人に母国との電話をしてもらったことです。特に南米の人に人気でした。無料で電話ができてしまって大喜び！パプアニューギニア展では、その年8月に親善訪問した参加者から土

産として買って来た品々を展示して貰いました。ここには書けない珍品も出て話題になりました。

しかし、この種類の記念イベントは観客の動員がなかなか難しく、協会としては精一杯の努力をしましたが、全体としては出足は今一步でした。賛助会員にアンケート調査をやっており、結果を



好評の「外国語ワンポイントレッスン」で、用意した部屋が満杯になった中国語教室

その後の紙面でも特集しています。記録を読み返してみると、内容が充実していて良かったという褒めの言葉もある反面、・国際交流という言葉は堅苦しいのかな・事前広報が十分でなかった・外国人が少なかった・内容の細かい案内がなかった(イベントの開始時間とか)など、示唆に富んだ意見も多くありました。

TIAアーカイブス

新旧運営委員長のご挨拶

今年度から協会の活動を推進する運営委員会の委員長が、常任だった丸山正克さんから嶋勝康さんに代わりました。丸山さん、長年ありがとうございました。嶋さんは前年度に副運営委員長を務められました。お2人にそれぞれの感想をお願いしました。

新運営委員長 嶋 勝康

豊川市国際交流協会の存在を知ったのは、当協会の英会話語学講座を受講したときだった。退職して海外に飛び出したかった私は中南米の1人旅を3カ月して戻り、会話の未熟さから更なる語学の必要性を感じたからだ。

その後チェコ部会の立ち上げ案が浮上し、協会会員に一步を踏み込むも、初めは何かと戸惑いもあった。増える友だちは新鮮で魅力があり、職離れ後の大きな転換を自分なりに乗り越えて楽しみが倍増した。

そうした中でこの4月、新年度の運営委員長という大役を仰せつかり、内心「私でもいいのか」の自責の念もあった。少子高齢化が問われる今、これから定年を迎える中間に位置する人たちは年金減もありボランティア活動に手を出しづらい面もあるだろう。そうした代役を高齢者がカバーし、次世代援護する時代なのかもしれない。

さて、運営委員長とは何をやる役目なのか？ 会員歴の浅い私には全体をまだ見渡せないが、一口で言えば各部会は限られた予算と条件のなかで、それぞれが個性を生かしてより楽しく活動できる場を築くことだろう。会員の活気はそのまま豊川市国際交流協会の成長でもある。

次世代は絶対数の人数不足から2足3足のわらじを履く多面ぶりが要求されることにもなりかねない。そう考えてみれば私たちは今、力を惜しむことなくベストを尽くして今年度の事業に専念すればよいと思う。その先に明るい笑顔が待っていることを望みたい。



旧運営委員長 丸山 正克

国際交流協会にかかわってから20余年、運営委員長を12年間、ポンヤリ勤めました、というのが現在の心境です。

協会への関わりは、日本語指導の依頼を受け、俺は日本人だぞ、という自己優越感に酔った安請け合いが始まりでした。当時、自動車産業の好転が、日本の経済状況を押し上げ、南米を中心とした日系外国人が職を求めて来日した時期でした。急変した状況に「日本人の顔を持つ日本語の通じない人」「自国の文化を固持する人たち」「説明しがたい威圧感を感じる人々」等々、「違和感」ばかりを強調した会話が、ちまたにあふれていたような気がします。交流よりむしろ分離を選びそうな雰囲気だったような気がします。勿論、私自身もそんな風潮を形成した一員でした。

そんな雰囲気の中で、運営委員長を引き受けたのですが、本音は「何をやる？」の一言以外に何もありませんでした。しかし、引き受けた以上、大言壮語すれば、外国人との積極的な交流体験を通して、「国際交流とは？」の自己回答を求めることでした。そのための改革案、新事業など提案しましたが、結果は大言壮語の増幅で終わりました。ただ、よたよたとたどり着いたものは「異文化交流とは、共に認めあい生活することである」ということです。しかし、私にとっては、ある意味で充実した12年間でした。

*私の著書「多文化共存—その片隅で考える」を希望者に、先着順、無料で進呈します。



ワイ!ワイ!ポイントカード Wai! Wai! Point Card 会員大募集!!

J Aひまわりの事業利用でポイントを貯めて、値引きや商品交換に使おう!
入会のお手続きは、J Aひまわり各店舗まで! (グリーンセンター・Aコープ・金融店舗など)

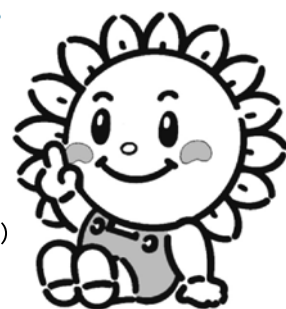
ひと・夢・いいね。
 JAひまわり

お問
合せ先

本店 企画課 豊川市諏訪1-1
☎85・3171

JAひまわり

検索



「科学が何の役に立つのか？」

高エネルギー加速器研究機構
研究交流推進室 理学博士

大須賀 関雄 ケネス

去る6月22日、とよかわボランティア・市民活動センターブリアオ視聴覚室で開催しました。聴講者は44人でした。先生の講演は昨年と同じ6月に続く2回目でした。要旨を紹介します。

本日は奇しくもあのガリレオ・ガリレイが1633年「それでも地球は回っている」と言って有罪判決を受けた日で、科学に関する講演をするについては因縁の日になった。

今日は科学に関しての話だが、科学は証明をされなくてはならない。その結果、納得せざるを得ない状況が生まれ、次の研究を促す元になる。

証明に関して言うと、6500万年前、恐竜は絶滅したと言われる。過去には科学者(発掘者?)たちはいろいろな説を唱えたが、どれも証明が無かった。そこに登場したの

が地質学者のウォルター・アルヴァレー、ノーベル・アルヴァレー親子だった。落下隕石のクレーターを特定して、その痕跡から見つけたススの痕跡から巨大隕石落下説を証明して見せた。

次に、核戦力はなぜ縮小したのか。この巨大隕石落下説から、核使用後の地球への影響を推し量り、地球破滅を想定して、当時のソビエト連邦大統領ゴルバチョフは怖くなり、核戦力の縮小が始まり、東西の冷戦も終結した。

宗教は素晴らしい思想の提供が可能だが、証明が無いから説得力がない。創始者が亡くなると説得力が薄れる。科学は実証が可能であるために、時間空間を越えて、どんな人をも確信させることができる。

日本により科学を定着させるには、外国語を習得して、世界に飛躍することだ。最後に、科学が悪用されないためには、人類愛を育成することだ。



プロフィール
1945年、市内御油町生まれ。
1977年、カナダ国籍取得。つくば市在住の物理学者。オペラ演出家としても有名。

世界の料理教室「台湾家庭料理」

世界の料理部会

6月29日(日)午前10時から勤労福祉会館の調理室にて開催しました。参加者は40人(うち7人部会員)でした。

講師は、豊川市在住の台湾人、莊琇晶さんでした。日本人と結婚されて来日15年になるそうです。料理の腕は台湾でお店をやっていたことがあるほどで、手際の良さが光ってました。当日はいつも使っている中華包丁を持参してくれ、ニンニクやキュウリを包丁の背で叩くなど中華包丁ならではの使い方も披露してもらいました。



講師の莊さん



メニューは、蒜泥白肉(ゆで豚の中華ソースがけ)、涼拌小黄瓜(キュウリの中華風漬物)、肉丸子湯(肉団子のスープ)、猪肉炒豆苗(豚肉の豆苗炒め)、麻婆豆腐、

酪梨牛奶果汁(アボカドジュース)でした。

ジュース以外はすべての料理にニンニクが入っています。まず最初に各テーブルごとに3玉のニンニクを粗みじん切りにしました。一粒ずつにばらしたニンニクを、包丁の背でつぶしてから皮を取り、刻むというのがコツだそうです。麻婆豆腐は日本人向けに味噌を入れて辛みだけでなくうま味を強く感じられるようにアレンジしてありました。みなさん、いつもは素を買ってくるそうですが、これからは一から作れると大変好評でした。ニンニクの臭いを気にしている方も多くいましたが、最後にとろみのあるアボカドのジュースを飲むことで口の中がさっぱりして、臭いが気になりにくくなりました。



夏にぴったりの料理が多く、手に入れやすい材料ばかりだったので皆さんのこの夏のレパートリーになると思います。お隣の国、台湾の料理を堪能した3時間でした。



株式会社 **ヒミカ**
〒441-8019
豊橋市花田町字荒木95番地
Tel: (0532) 31-0012
Fax: (0532) 31-0190
<http://www.himika.co.jp>

コンピュータのことなら、なんでもご相談下さい。

- LAN・ネットワーク構築
- ハウジング・ホスティングシステム管理
- 受託計算
- システム設計開発

マレーシア人大学生のホームステイ受け入れ

一般財団法人日本国際協力センター（JICE）が実施する青年交流事業「JENESYS2.0科学技術第9陣」で来日したマレーシア人大学生24人と引率者1人の総勢25人を5月16



みんなで記念撮影

日（金）から18日（日）に14家族がホームステイの受け入れをしました。16日の午後6時半に勤労福祉会館第2会議室で対面式を行い、17日は各家庭でそれぞれ楽しい時間を過ごしました。18日正午から午後2時まで、



ホストファミリーと

チャイニーズダイニング CHINCHINで歓送会を行いました。短い滞在でしたが心づくしの歓迎に皆さん良い思い出ができたことでしょう。

おいでん祭に出展

市野球場周辺で豊川市民まつり「おいでん祭」が5月24日（土）、25日（日）の2日間にわたって開催されました。市野球場特設ブースの豊川市国際交流協会コーナーでは、協会の各種事業を写真など使いパネルで展示し、ラテンアメリカの伝統料理や飲み物などを販売しました。その他にもペルー、中国、韓国などの民族衣装、浴衣の展示や試着、ラテンアメリカの楽器で演奏、協会のチラシ配布も行いました。

翌日25日（日）にはアトリエによる民族舞踊を披露しました。おいでん祭には、毎年参加しています。



協会のコーナー



楽器の演奏

ラテンアメリカ部会清須市へ

ラテンアメリカ部会（アトリエ）

5月17日（土）に清須市国際交流協会で総会が行われ、総会後のアトラクションへの出演依頼がありました。

参加者は大人14人、子ども13人で10時40分にバスで豊川市を出発しました。



ダンスを披露

午後2時半から、清須市勤労福祉会館でダンスと音楽を4曲ずつ披露しました。とても好評でアンコールがあり、音楽を予定より2曲多く演奏しました。

来年もぜひやってほしいとの申し出がありました。その後、清須城を市役所の方に案内してもらいました。有意義な時間ももてました。

オイスカ研修生との交流会

フレンドシップ部会

5月20日（火）に豊田市のオイスカ中部日本研修センターからフィジー、パプアニューギニア、ミャンマー、フィリピン（2）、ベトナム、マレーシア、インドネシアの7カ国の農業研修生8人と指導員1人をお招きしました。参加者は総勢42人でした。

今年もJAひまわり管内農協施設（音羽グリーンセンター、カントリーエレベーター、トマトセンター、中部営農センターなど）を見学しました。

午後6時から勤労福祉会館視聴覚室でフレンドシップ部会の企画による交流会を開催しました。研修生の自己紹介とパフォーマンスなどやグループに分かれての交流を行いました。

研修生は英語や拙い日本語で、明るい雰囲気にもまれて参加者と話をしました。着物を着た日本文化紹介部会の方々をお手本に全員で豊川観光音頭を踊りました。



地球儀でお国紹介



パフォーマンスの様子



行政書士小柳津えみ事務所
Administrative Documentation Attorney
Despachante Credenciada

入管手続・国籍関係手続

Immigration Procedures
Nationality Procedures

Procedimentos de Imigração
Procedimentos Relativos
à Nacionalidade

豊川市御油町栗木山152番地

TEL 0533-80-1801

FAX 0533-80-1802

E-mail emi@fb3.so-net.ne.jp

プラス・ワンからはじまる可能性。

共和印刷株式会社

本社 ● 〒441-8042 豊橋市小池町36番地の1
tel.0532-46-3281 fax.0532-46-3285

日本語教室課外活動 春のバス遠足

日本語教室部会

6月8日(日)に日本語教室の課外授業で犬山に行きました。参加者は日本語教室の生徒(ブラジル、ペルー、中国など)35人と先生などスタッフ20人の総勢55人でした。



犬山城を背景に記念写真

市のバスを借り、国際交流協会を出発、犬山城、歴史資料館を見学しました。侍の衣装を借り、忍者の格好やそれぞれ思い思いの衣装を身に付け写真を撮影し、商店街を歩きました。当日はお天気に恵まれ楽しい1日を過ごしました。



侍の衣装で

課外授業のバス旅行は年1回ですが、既に来年はどこに行こうかという話が出ています。良い思い出ができたのではないかと思います。

日本語教室は、毎週土曜日の夜に勤労福祉会館で通常の教室を開講し、主に日本語の勉強をしていますが、バス旅行、交流会、ボランティア研修会などで親睦を深めています。さらに諏訪のプリオでもひるまクラスを開講しています。

七夕交流会

日本文化紹介部会

6月28日(土)の午後2時から勤労福祉会館視聴覚室で七夕交流会を開催しました。参加者は外国人20人(ペルー、ブラジル、ルーマニア、中国など)、日本人57人(スタッフ含み)で総勢77人でした。



笹飾りの製作

恒例の七夕飾りづくり、浴衣の試着の他に夏祭りの雰囲気を出そうと、今年はポップコーンを作り、折り紙の魚釣り、輪投げ、ボールの的あてのゲームをして、流しそうめんも取り入れ

ました。

日本文化紹介部会が中心となり、事前に皆さんで集まり、七夕飾りの短冊や折り紙など、当日の準備をしました。



みんなで記念撮影

フレンドシップ部会が協力し、流しそうめんの担当で本番にそなえリハーサルをしました。



輪投げゲーム

当日はそうめんの他にもキュウリ、ミニトマト、ゼリーなども流し、笹船も夏を感じるよう流したりしました。盛りだくさんの内容で、たいへん楽しい時間を過ごしました。



魚釣りゲーム



流しそうめんのよ

土曜日のプチデジュネ(朝食)

フランス部会

週末の朝のひととき、のんびり情報交換をしながら、より文化的に、より刺激的に過ごそうと企画しました。



第1回目を7月5日(土)に協会事務局で行いました。第1土曜日の朝9時から10時半にカフェとパンの軽い朝食付き(会費500円)でフランスに関するわたしのお勧めの書籍(雑誌、小説、絵本、エッセイ…)の紹介を制限時間ひとり3分で、順番に紹介していき、ひとり何冊でもOKで、時間が来たら終了。当日は部員の他にも3人参加され、まずまずの滑り出しでした。会員、非会員を問わず参加でき、申し込みは2日前までです。これからも続けていきます。

刺身・海鮮炭焼・寿司
北海道

～各種宴会・法事・慶事～ 個室50名(宴会最大86名)

〒442-0823 豊川市正岡町流田508 ランチ 11:30～15:00 (LO14:00)
ご予約電話 0533-80-7077 夜 17:00～22:30 (LO22:00)
HP: <http://r.gnavi.co.jp/n593700/> 定休日 土曜日

村松書店

〒442-0041 豊川市旭町6番地
TEL (0533) 86-3810
FAX (0533) 86-2682
E-mail add.
mbooks@ccnet-ai.ne.jp



青年海外協力隊体験記

タイ

新宿町 千田 理愛

サワディーカ（こんにちは）。私は2012年6月から2013年3月までタイ東北部ナコンラチャシマー県にあるナリサウッド女性保護・職業訓練センターで活動していました。このセンターでは人身取引被害に遭い、保護された女性がこれから社会復帰できるよう、集団生活を通して生活習慣の改善、職業訓練等を行います。入所する女性は主に売春、児童労働で保護された18歳未満の女性と、貧困や暴力、生活環境の悪化により自宅で生活することが危険と判断された女性がいます。年齢は9歳から32歳で平均年齢が17歳です。タイ人はもちろんラオス人、カンボジア人を含めて約80から100名の女性が共同生活をしています。私はここで入所したばかりの女性が1ヶ月間、施設に慣れるためのアクティビティを提供する教室を担当していました。

初めころは言葉もうまく通じず、また、職員の入れ替わりも多く、なかなか活動が進みませんでした。特に、教室に来る女性が40名を超え、私一人でアクティビティを行っていたときはどうしたものかと頭を抱えました。

しかし、そこで入所者たちとかかわることで勇気と元気をもらい、徐々に入所者とコミュニケーションをとり、本人のニーズを踏まえたアクティビティを実施することができました。手芸教室やアクセサリー作り、日本文化紹介、料理、芸術、スポーツ、勉強などさまざまなアクティビティを行いました。特にアクセサリー作りは大好評でした。活動の終盤では、一番信頼できる親友のようなスタッフとこの教室を担当することになり、お互いの意見を率直にぶつけ合い、アクティ



一番仲の良い同僚。右が筆者の千田さん

ビティの種類を増やすだけでなく、習慣づけることに力を入れて行いました。「時間を守る」「掃除をする」「集中して取り組む」「あいさつをする」「話を聞く」といった基本的なことを毎日こつこつ習慣づけて行えるよう職員が手本となり実践するようにしました。その結果、入所者たちに責任感が芽生え始めました。ボランティアの企画としてキャリアガイダンスも行いました。入所者の中には退所後、無職になる者、また人身取引被害に遭う者が結構いました。そこで、他の施設の日本人ボランティアと同僚に協力してもらい、日本文化交流と将来について考えるアクティビティを実施しました。入所者は将来について考える機会がありません。いきあたりばったりで夢ばかり見ている子もいるのが現実でした。そのため、将来について具体的に考え、退所後の自分の仕事とそのために今できることを考えさせることにしました。



施設のお祭りの時、入所者がラオスの民族衣装を着て踊りを発表

大きな変化はありませんが、生活の中で身だしなみを整える子や職員の手伝いを率先して行う姿が見られ、将来を考えるきっかけ作りとしてはよかったと思います。この企画は現在活動しているボランティアが引き継ぎ、タイ国内の女性保護センターで実施されています。

このボランティア経験の中で私は多くの仲間を支えられ、優しさももらいました。ここでの経験をもっとたくさんの人に知ってもらい、人身取引被害がこれ以上増えないようにと願っています。



キャリアガイダンスの集合写真

パティスリー
ラ・プティ・メゾン
PÂTISSERIE LA PETITE MAISON

depuis 2011

素朴な本場フランス菓子を取り揃えてお待ちしております。

TEL : 0533-65-8088
豊川市八幡町鐘鋳場180

- 営業時間/AM8:30~PM7:00
- 定休日/月曜日

日立製作所

インドカレーと焼きたてナンのお店
BANDANA
INDIAN RESTAURANT

http://www.sinbandana.com/
パーティー等のオードブルも承っております。お気軽にご相談下さい。
ご注文は TEL (0533) 83-3353 まで!!

営業時間 AM11:00~PM 3:00 (オーダーストップ PM2:30)
PM 5:00~PM10:00 (オーダーストップ PM9:30)

豊川市桜木通6-13 水曜定休(祝日の場合は営業)

第4回東三河日本語スピーチコンテスト原稿紹介 No.2

前号に引き続き、1月26日（日）午後1時30分から新城市の富岡ふるさと会館で開催された第4回東三河日本語スピーチコンテストの原稿を紹介します。今回は特別賞を受賞した奇耀文さんのスピーチです。掲載文は提出していただいた原稿のとおりです。なお、紙面の都合で朱皓清さんの原稿は次回紹介します。



奇 耀文 通訳、中国 「日本で私が 歩んできた道」

みなさんはモンゴルと聞くと、何を思い浮かべるでしょうか。きっと遊牧民が暮らす、大草原をイメージするのではないのでしょうか。

私の故郷、中国北部の内モンゴルでは、1960年代深刻な砂漠化が進んでいました。急速な開発に土地の再生力が間に合わず、自然豊かな草原は広大な砂漠へと姿を変えていったのです。

私が生まれた所、内モンゴルオンカクバイ砂漠の人なら誰もが敬意を表している日本人がいます。彼は、私たちに、そして、未来の子供たちに大きな希望を与えてくれました。

1970年代半ば、この地に一人の日本人が降り立ちました。その方が、当時鳥取大学名誉教授の遠山正瑛先生でした。内モンゴルの砂漠化を目の当たりにした遠山先生は、1992年NGO団体を立ち上げ、誰もが不可能だと思っていた「砂漠緑化」運動を開始しました。この運動に参加した、のべ9,000人もボランティアの先頭に立って、様々な困難を乗り越えながら約20年間で300万本の植樹を実施しました。かつては荒野と化し、生活すら困難であった一帯に、今では花が咲き、蝶が舞う穏やかな地が戻ってきたのです。

2004年97歳で遠山先生は逝去されましたが、今でも緑化運動を未来に繋げていこう、という思いの「内モンゴル希望の森プロジェクト」が行われています。先生の思いは今なお受け継がれ、未来の子供たちにもきっと届くことでしょう。

実は私が来日した経緯にも、遠山先生は深く関わっているのです。遠山先生と私の両親は緑化運動を通じて交流がありました。当時大学で教育関係の勉強をしていた私は、日本の大学に留学したいという思いがつのってまいりました。それを知った遠山先生は、鳥取大学教育学部の佐伯先生を紹介して下さいました。その縁で私は留学の夢を実現することができたのです。

遠山先生は私の故郷に縁を取り戻してくれ、さらに私の留学の夢を叶えてくれました。先生はオンカクバイ砂漠で生まれた私にとってまさに恩人であります。

いま私は会社にいる実習生と会社の人の間で主に仕事上の通訳をしています。これからは日本の教育、文化、歴史などをもっと幅広く勉強して、母国と日本の中で仕事だけでなく、人と人の交流が深まるように、この先自分は何ができるかを考えることが多くなりました。

私は仕事をしながら、休日を利用して川の清掃のボランティア活動をしています。日本へ来て人々との出会いが増えるにつれ、理解はさらに深まりました。



日本人が仕事に対してもつ誠実さ、その緻密さや、品質に対する厳しさや、物事に取り組むその精神など、多くの優れた特徴を学びました。会社の中国人実習生にもこの精神こそを一番わかって欲しいと思っています。中国では今大学を出ても半数が就職できないくらいの就職難です。世界一と言われる日本の自動車工業の現場において、微力ながらも貢献できる私は幸せです。

私の人生を大きく変えてくださった遠山先生のような生き方をお手本として、至らない私ですが、今後も日本で仕事を続けていくことで恩返しの一部になればうれしいと思っています。

皆さんの御清聴ありがとうございます。

思い出に残る **旅** ご提案します

個人旅行 国内旅行 海外旅行 団体旅行 御見積り無料!!

株式会社 **トラスベル東海**

本社 営業所 TEL.0533-84-7115
豊鉄本野町/バス停前 営業時間10時~18時(日・祝休み)

趣味の民芸・土産・造花フラワー店

(株) 林電工

恋のれん結び堂

造花フラワー師範 林 叔子

〒442-0027 豊川市桜木通5丁目1番地 ☎(0533)85-9977

INFORMATION

● 外国語講座受講者募集

◆ 使える中国語1（初級）

8月21日～11月27日 毎週木曜日 全15回
午後7時30分～9時 定員20人
講師 林明子さん

◆ 英会話初級A（初級）

9月2日～11月25日 毎週火曜日 全12回
午後1時30分～3時 定員25人
講師 白頭由麻さん

◆ 料理でおいしいハンゲル（初級以上）

9月3日～11月12日 隔週水曜日 全6回
午前10時30分～午後0時30分 定員20人
講師 小野寿美江さん

◆ 英会話初級B（初級）

9月4日～11月20日 毎週木曜日 全12回
午後7時30分～9時 定員25人
講師 コディ・ケンプさん

場 所 勤労福祉会館

受講料 会員6,000円 一般10,000円

使える中国語1は、会員7,500円、一般12,500円。テキスト代が別途2,000円程度。料理でおいしいハンゲルは、会員9,000円、一般11,000円。

申込み 8月18日（月）までに電話で事務局へ。
定員を超えた場合は抽選です。

● お月見交流会参加者募集

日 時 9月15日（月）午後6時30分～8時

場 所 勤労福祉会館

雨天の場合は室内で行う予定です。

内 容 地域在住の外国人と共に、ジャズの鑑賞と月見団子を味わいながらお月見の風情を楽しみます。

定 員 100人

参加費 300円（大人同伴の小学生以下は無料）

申込み 9月9日（火）までに電話で事務局へ。

● 文化講座「ネパールってどんな国」受講者募集

日 時 9月27日（土）午後2時～4時

場 所 勤労福祉会館視聴覚室

講 師 ラクパ・シェルバさん

内 容 ネパールの文化や生活習慣を紹介

定 員 60人

受講料 会員300円、一般500円

申込み 9月1日（月）から電話で事務局へ。

● 日本語スピーチコンテスト応募者募集

日 時 11月2日（日）午前9時30分から

場 所 勤労福祉会館視聴覚室

内 容 小・中学生は3分以内、高校生以上は5分以内で、自由にスピーチしていただきます。

応募資格 日本語が母国語でない市内在住の小学生以上の方。

審査方法 書類選考に合格した方に、当日スピーチしていただきます。

賞 各賞とも賞状と賞品があります。

応募方法 指定の申込用紙に記入の上、スピーチの原稿を添えて、9月25日（木）必着で事務局まで提出してください。

● ワールドフェスティバル 第2回世界演芸大会出場者募集

11月2日（日）に開催しますが、出場希望の方は事務局までお問い合わせください。

● 今後開催予定の行事

◆ ざっくばらんに話そう

◆ 折り紙交流会

◆ ボランティア研修会

などを予定していますが、日程は未定です。興味のある方は電話で事務局へお問い合わせください。

豊かなくらしのお手伝い



豊川信用金庫

本店 豊川市末広通3丁目34番地の1 ☎ (0533) 89-1151(代)